

京都駅前再生に係る有識者会議 (第2回)

資料

目次

1. はじめに	・・・ 3
1) 第1回会議における主なご意見	
2) 本会議における検討項目	
2. 京都駅前再生に向けたコンセプト・必要な機能等	・・・ 8
1) 京都駅前再生に向けたコンセプト	
2) 必要な機能等	
3. コンセプトの実現に向けた方策	・・・ 18
1) 多様な都市機能の集積	
2) ウォーカブルなまちの実現	
3) 京都らしい駅前や建物デザインの実現	

1. はじめに

- 1) 第1回会議における主なご意見
- 2) 本会議における検討項目

第1回会議における主なご意見

あるべき姿、重視すべき視点
(コンセプトに関するもの)

- ・ 他都市とは異なる「京都らしさ」や、京都を感じるインパクトを持った仕掛けが重要
- ・ 駅を降りて外に出た時に京都を感じさせる空間が重要
- ・ 偶発的な出会いが生まれるような駅前とすべき
- ・ 色々な人が色々な想いを持って使えるおもてなしの視点が重要
- ・ ハイグレードな空間を提供するのが京都駅前の使命
- ・ 既存ストックの活用や、革新と伝統の融合の観点も重要
- ・ 利用可能な空間を考慮し、複数の機能を限られた空間に、誰がどう収めるかも要検討

第1回会議における主なご意見

業務・多様な都市機能の集積

オフィス

- ・ 単なる作業スペースでなく、創造性を刺激する自由でクリエイティブなオフィス環境が必要
- ・ オフィスが足りないことはわかるが、業務空間の供給と京都らしさとの関係を考えることが必要

多様な機能

- ・ 賑わい、交流、多様な人々の活動の場など多様な機能を導入し、楽しい環境を作ることが重要
- ・ 京都が発展していくために必要な機能をどう収めていくかが重要
- ・ 防災やレジリエンスの視点も重要

交通結節・ウォーカブル

交通結節

- ・ 交通結節機能の向上、最適化が重要
- ・ 駅に機能が集中するなか、駅から東西南北へのアクセス、人流の分散、まちの回遊性を高めることが必要
- ・ 駅前広場の立体的な活用の可能性は要検討

滞留

- ・ 人の交流や居心地の良い滞留を促すウォーカブルな広場空間の創出が必要

検討

- ・ 現状の人流や滞留を分析のうえ、技術革新も意識しながら、機能の再配置を含め検討すべき

第1回会議における主なご意見

街並み・デザイン

建築物

- ・ 駅前広場に降り立った時に見えるデザインが重要
- ・ 導入する機能でデザインが変わるため、どのような機能を導入するかを意識することが重要

街路・広場

- ・ 人の活動や動きを意識した、歩いて楽しい、回遊性を生み出す街路景観が重要
- ・ 建物の中に都市がある京都駅ビルを踏まえ、駅前広場の在り方を考えることもあり得る
- ・ 駅を出た時の風景と、烏丸通・東本願寺の位置関係や見え方を考慮すべき

プロセス

- ・ 1年間の到達点を意識して、論点を整理しながら議論を行うべき
- ・ 多様なステークホルダーに意見を伺う機会を設けるべき
- ・ 共通の目標像で、官民協調や民間の努力による地域価値が向上するエリマネの視点も重要

本会議における検討項目

① 京都駅前の再生に向けたコンセプト

② 業務・商業その他の多様な機能等のあり方

時代の潮流に沿ったクリエイティブなオフィス等を中心とした、多様な機能の集積のあるべき姿や実現方策を検討

③ ウォーカブルなまちのあり方

交通結節機能、アクセス性、回遊性の向上に向けた駅前広場・道路空間のあり方や実現方策を検討

・短期的な取組(概ね5年後) ⇒ あり方及び実現方策を検討

・中長期的な取組(概ね20年後) ⇒ あり方の大きな方向性のみ検討

④ 街並み・デザイン

京都の玄関口にふさわしい駅前や街路景観、建物・公共空間のデザインを検討

2. 京都駅前再生に向けた コンセプト・必要な機能等

- 1) 京都駅前再生に向けたコンセプト
- 2) 必要な機能等

コンセプトのキーワード

第1回会議でのキーワード

●全般

- ・偶発的出会い ・おもてなし
- ・伝統と革新の融合 ・京都らしさ

(参考)「京都らしさ」の要素例

- ・歴史 ・文化芸術 ・大学のまち ・観光
- ・ヒューマンスケールな賑わい ・環境先進都市

●オフィス・多様な都市機能

- ・自由でクリエイティブなオフィス環境
- ・賑わい、交流、多様な人々の活動の場など多様な機能の導入
- ・防災やレジリエンス

●アクセス性・回遊性・憩い

- ・交通結節機能の向上、最適化 ・駅からのアクセス性の向上 ・まちへの回遊性向上
- ・ウォーカブルな広場空間

●景観・デザイン

- ・駅前に降り立った時に見えるデザイン ・回遊性を生み出す街路景観



京都駅前のまちづくりの方針(既存)

●「都市計画マスタープラン(R3)」

京都都市圏の中核を担う京都駅とその周辺地域では、都市活力をけん引するオフィスビルや商業施設などの都市機能の高度集積が進む

●「新京都戦略(R7)」

京都駅周辺を新たなビジネス・交流の創造拠点へ。オフィス・商業施設の供給促進、市有地の有効活用により都市機能を集積

京都駅前のコンセプト(たたき台)

○京都らしさ

京都らしさを感じる駅前

- ・ 京都らしさを感じられる空間の創出
- ・ 京都の歴史性と現代の革新性を互いに尊重した街並みの創出・ストックの活用
- ・ 文化芸術、大学関連施設との共存・連携

○共創と活力

商業・業務の集積

- ・ 時代の潮流に沿ったクリエイティブなオフィスの集積
- ・ イノベーションや多様な働き方を生み出すワークスペースなどの集積
- ・ 多様な人々の目的地となる商業の集積
- ・ 偶発的な出会いや活動を生み出す場の創出

○おもてなし

憩い・利便性の向上

- ・ 多様な人々が憩える滞留空間の創出
- ・ 快適な観光を支える機能の立地
- ・ 利便性の高い交通結節、まちへの良好なアクセスの実現

○五感で感じる、歩いて楽しい

回遊性の向上

- ・ 歩きやすい豊かな歩行者空間の創出
- ・ 沿道のヒューマンスケールな賑わい、潤いの創出

○持続可能性

変化への対応

- ・ 柔軟に変化し続ける
- ・ レジリエンスの実現（災害に強い）
- ・ 環境配慮

コンセプトの実現のために必要な機能等(たたき台)

京都らしさ

目指す方向性	必要な機能等(例)
京都らしさを感じられる空間の創出	・京都らしさを感じられる風景やランドマーク
京都の歴史性と現代の革新性を互いに尊重したストック活用・街並みの創出	・特色のあるストックとの共存 ・建物や公共空間のデザイン
文化芸術、大学関連施設との共存・連携	・美術館、ギャラリー ・映画館、劇場 ・大学等

共創と活力

目指す方向性	必要な機能等(例)
時代の潮流に沿ったクリエイティブなオフィスの集積	・豊かでフレキシブルなオフィス空間
イノベーションや多様な働き方を生み出すワークスペース等の集積	・コワーキングスペース ・貸し会議室
多様な人々の目的地となる商業の集積	・観光客対象(飲食、休憩、土産、体験) ・働く人対象(昼食、アフター5、日用品) ・市民対象(外食、休憩、ファッション、日用品、体験)
偶発的な出会いや活動を生み出す場	・コンベンションやイベントが可能なスペース ・オープンスペース

コンセプトの実現のために必要な機能等(たたき台)

おもてなし

目指す方向性	必要な機能等(例)
多様な人々が憩える滞留空間	・人中心の広場 ・オープンスペース
快適な観光を支える機能の立地	・宿泊施設 ・観光案内所 ・手荷物預かり所
利便性の高い交通結節、まちへの良好なアクセス	・直結性の高いアクセスルート

五感で感じる、歩いて楽しい

目指す方向性	必要な機能等(例)
歩きやすい豊かな歩行者空間、回遊性	・駅前広場の歩行者空間の拡充 ・道路の歩行者空間の拡充
沿道のヒューマンスケールな賑わい、潤い	・沿道低層階の多彩な賑わい施設 ・沿道の緑化

持続可能性

目指す方向性	必要な機能等(例)
柔軟に変化し続ける	・時代の流れに合わせた変化の許容、成長の促進
レジリエンスの実現(災害に強い)	・帰宅困難者対策 ・BCP対策
環境配慮	・環境性能の高い建物 ・緑、潤いの創出

時代の潮流に沿ったクリエイティブなオフィス

- ・近年のオフィスには、多様な働き方を実現するフレキシブルな空間や、コミュニケーションを生み出す交流空間、天井高の高い快適な空間等が求められる。
- ・フリーランスや出張中のビジネスマン等が、目的によって柔軟に場所や働き方を選ぶことができ、交流も出来るコワーキングスペースも求められている。

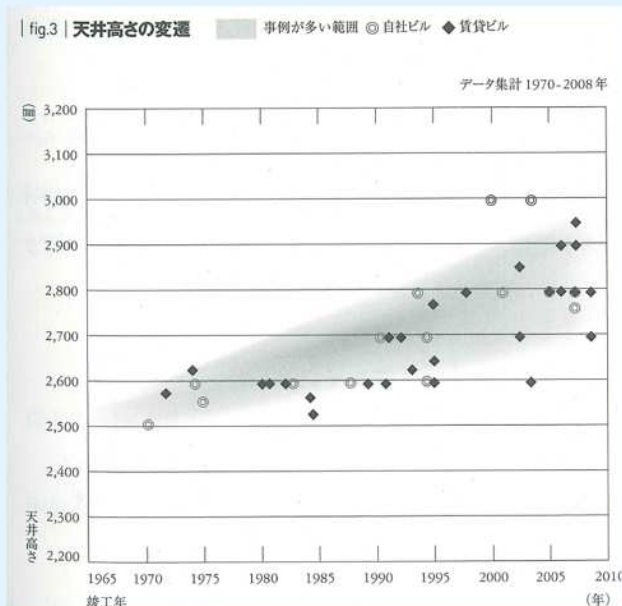
【オフィス空間の潮流】

- **フレキシブル・多様な働き方**
仕事の目的やスタイルに応じて、レイアウトや場所、規模を選ぶことができるオフィス

- **コミュニケーションの活性化**
新しいアイデアや人間関係を生み、コミュニケーションが活性化されるオフィス



- **快適で機能的な空間**
ゆとりある空間や設備更新性を企図した天井高の高いオフィス



オフィス天井高の変遷

出典：「オフィスブック」制作グループ編著
「オフィスブック」(2011) 朝倉国社

【ワークスペースの潮流】

従来のワークスペースに加え、集中できる個室や会議室、テレワークブース、交流・イベントスペースなど、多様なニーズに対応したスペース

JAM BASE (ジャムベース)



© Nacása & Partners Inc.

2. 京都駅前再生に向けたコンセプト・必要な機能等 多様な人々が憩える滞留空間の創出

駅前広場・公園や建物敷地内で憩い・交流が可能なオープンスペースを創出し、多様な人々の滞留を生み出す事例が増えている。

●公共的空間における事例

○グラングリーン大阪

大きな緑地を創出し、目的地となる広場



©伊藤彰[アイフォト]

○姫路駅前広場

歩車空間の再編等で人のための空間を拡充



●建物敷地における事例

○神戸大丸(神戸旧居留地)

通りに面してオープンカフェを創出



出典：Googleストリートビュー

○丸の内ブリックスクエア(東京)

敷地の内部に憩いの場を創出



出典：Googleストリートビュー

2. 京都駅前再生に向けたコンセプト・必要な機能等 まちへの良好なアクセスの実現

●アクセス性・まちとのつながり向上の事例

地上



車道の歩行者空間化
(駅—まちのアクセス・つながり)

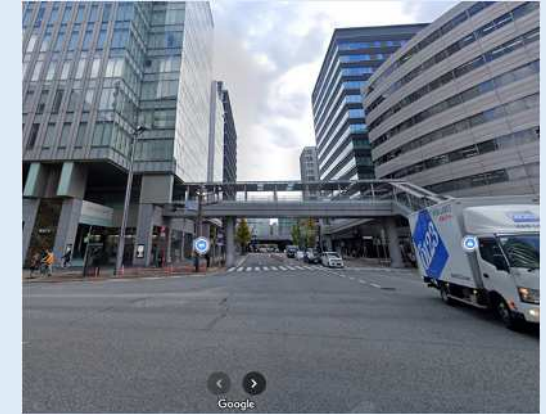
出典: なんば広場改造計画HP



貫通通路
(通り抜け可能な建物内通路)

出典: Nagoまちスペースづくりガイドライン

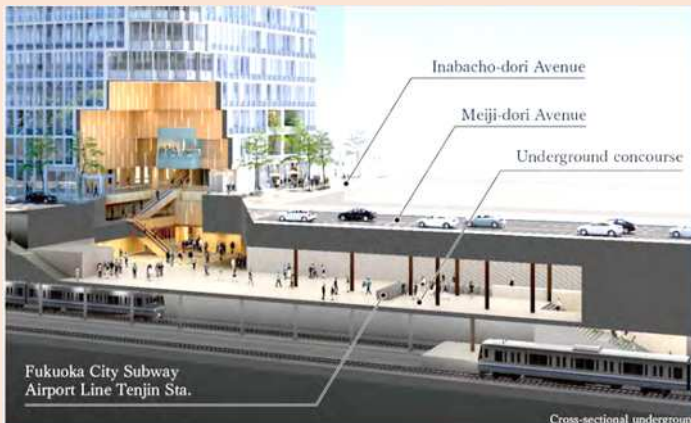
上空



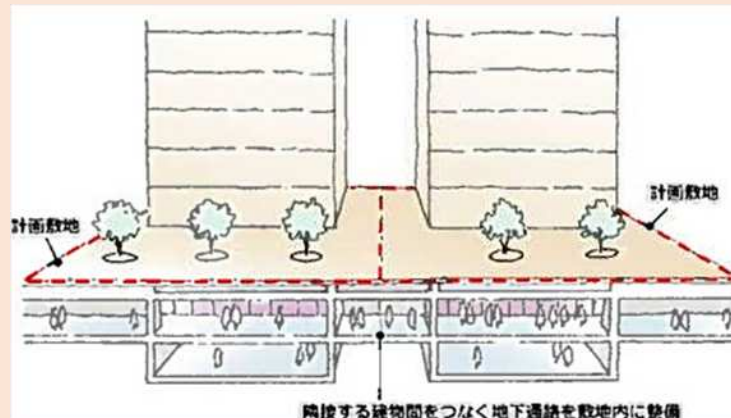
上空デッキによる接続

出典: Google社「GoogleStreetView」

地下



地下接続
(地下鉄・地下街—建物地下・地上)



地下接続(隣接建物同士)

出典: 左「天神ビジネスセンターパンフレット」福岡地所(株)
中・右「都心の地下歩行ネットワーク拡充手法に関する基本方針(案)」札幌市



地下出入口の建物取り込み

2. 京都駅前再生に向けたコンセプト・必要な機能等 歩きやすい豊かな歩行者空間

●道路空間における事例

○姫路駅前～大手前通

歩車空間を再編し、駅前広場・歩道・姫路城へと、わかりやすく、ゆとりある空間に。



出典：国土交通省資料



○御堂筋通

側道を歩行者空間に整備し、賑わいを創出



出典：国土交通省資料

○定禅寺通（仙台市）

道路の一部を活用し、賑わい・滞留空間に。



事業主体：（株）仙台協立／定禅寺ストリートアライアンス
（定禅寺通活性化検討会プロジェクト型ワーキンググループ）

企画：（株）仙台協立／Sendai Development Commission（株）／NPO法人自治経営／（株）L・P・D
設計：（株）L・P・D

○丸の内仲通（東京都）

民間敷地内に歩道と一体の歩行者空間を整備し、ゆとりある空間を確保



出典：近代建築の楽しみ 16

論点①

【現状】

- 近年、オフィスや駅周辺のまちづくりに関し、新たな潮流が生じている
- 京都駅前について、近年の社会経済情勢の変化を踏まえ、あるべき将来像を考えていくことが必要



【議論いただきたい点】

- ・ 京都駅前再生に向けたコンセプトはどうあるべきか
- ・ 京都駅前に必要な機能等は何か